

会員各位
臨時参加希望者

平成24年02月07日
春日部市 歩こう会会長
(担当：渡邊・老川・寺嶋)

「醤油街野田市探訪ウォーキング」のご案内

野田市の清水公園には何度もお花見で訪れていますが、今回は野田市内を探訪してみましょ。訪問先は神社を3カ所と市民会館・郷土博物館を見学しますが、会館・博物館では地元のボランティアの皆さんによる説明がうけられます。最後はキッコーマン醤油工場の「もの知りしょうゆ館」を見学します。

記

期 日：平成24年03月07日(水) **雨天決行**

目的地：野田市街

集合時間：午前10時

集合場所：(東武野田線)清水公園駅西口

参加費：〔会員〕無料 〔臨時参加者(随時自由参加可)〕400円

行程：約4km 今回は1班からの出発です。(距離・時間は目安)

10:00 清水公園駅点呼後出発→ 清水八幡神社見学 → 愛宕神社見学
→ 野田市市民会館(郷土博物館)(昼食・休憩)見学 → 興風会館
→ 須賀神社見学 → もの知りしょうゆ館工場見学(約1時間)

15:30 解散(場所：もの知りしょうゆ館)

(最寄り駅「野田市駅」までは「もの知りしょうゆ館」から徒歩5分)

持参物：弁当・飲み物(アルコールは不可)・敷物・雨具(傘は不可)等

【注】弁当は市民会館内の和室の部屋で食べます。

注意事項：市街地を歩きます。交通誘導員の指示に従って事故のないように歩行しましょう。

【お問合せ先】

寺嶋(735-7990)

- 清水八幡神社** 獅子舞は千葉県の『無形民俗文化財』
毎年7月、元禄6年(1693)に始まったとされる「バツパカ獅子舞」が奉納されている。
- 愛宕神社** 千葉県の『有形文化財』
現在の社殿は、文化10年(1813)に再起工、文政7年(1824)に再建。本殿の彫刻は"匠の里"と呼ばれる花輪村(現在の群馬県東村)出身の二代目で当時かなりの腕利きだった石原常八の作。意匠や技術に優れた江戸時代後期の典型的作品といわれている。
- 市民会館** 茶室(松樹庵)と共に国の『登録有形文化財』
元は江戸時代より醤油醸造業をいとなむ茂木佐平治が当時の最高の技術で建てらた和風趣きのある佇まいをもつ邸宅。天窗や照明などモダンな造作が見所。
- 市郷土博物館**
外観は正倉院の校倉造りをイメージした建物。全国でも珍しい醤油関連資料の公開や、地域の考古・歴史・民俗資料に関する特別展などが実施されている。
- 興風会館** 国の『登録有形文化財』
竣工(S4年)当時は千葉県庁に次ぐ大建築であった。設計者：明大を設計した大森氏。
- 須賀神社** 野田市の『有形文化財』
文政6年(1823)造立の約2メートルの丸彫の猿田彦立像があり、台座内に三像の透かし彫りがある。猿田彦は庚申信仰や道祖神などとも結び付く。

